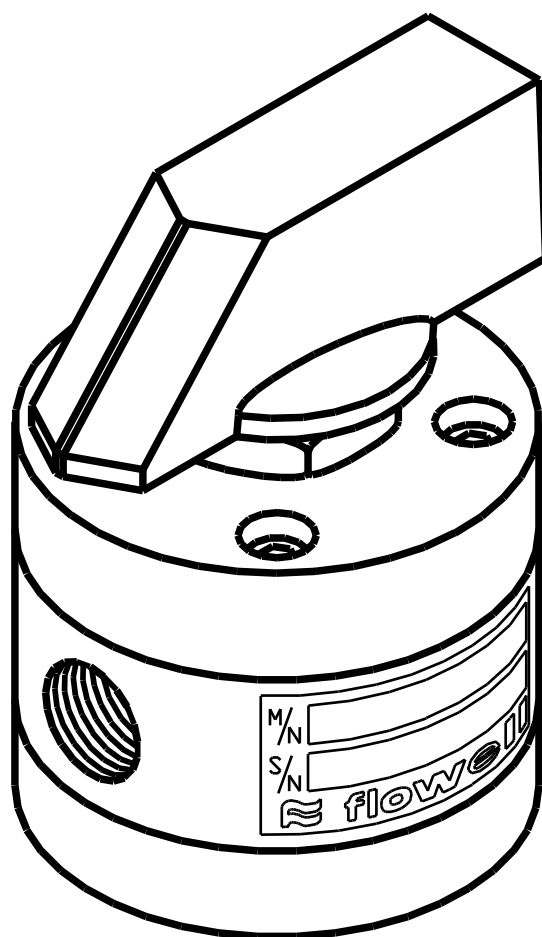


セレクトバルブ

# 6100シリーズ

取扱説明書



 **Flowell**

# ご使用の前に

---

この度は、当社「6100シリーズ」セレクトバルブをご採用頂き誠にありがとうございます。

本製品を間違った使い方をされますと、思わぬ不具合等を起こし兼ねません。お使い頂く前に取扱

説明書を熟読の上、正しい方法でご使用下さるようお願い致します。

この取扱説明書はお手元に保管し、常時ご利用下さるようお願い致します。

## 目次

項 目	ページ
1. 安全に関するご注意	2
2. 荷ほどき点検	2
3. 概要	3
4. 構造	3
5. 仕様	5
6. 型式表示	6
7. 設置及び取扱いの注意	6
8. 保守・点検	8
9. 不具合の原因と対策	8
10. 保証	8

# 1. 安全に関するご注意

この取扱説明書には人身への危害や機械、設備などの損害を未然に防ぎ、安全に使用して頂くために守って頂きたい事項を、下記のように表示しています。内容をよく理解された上、本文をお読み下さい。



・・・特定しない一般的な注意、警告、危険の通告に用いる。

警告・・・使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。

注意・・・使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び、物的損害の発生が想定される場合。

# 2. 荷ほどき点検

ご注文された製品が着きましたら、梱包を解き下記の点を確認して下さい。

- (1) ご注文の製品通りの物か？（下記、受領書、現品票に記載されている事項に間違いは無いか？）  
型式、サイズ、形状、材質など
- (2) ご注文通りの数量であるか？
- (3) 輸送中の事故などで、破損等はしていないか？

### 3. 概要

6100 シリーズは、接流体部に樹脂を使用した手動式の多方向切換バルブです。

流量の切換は各方向に通過穴を設けたスリーブをハンドルの回転で行います。

### 4. 構造

#### 4-1 構造

ボディ内にスリーブが挿入され、ボトムフィッティング、ボトムカバーとキャップでボディを挟み込んだ構造です。

接流体部は PCTFE, PTFE, PVC などの樹脂材を接流体部以外は、ステンレス鋼、黄銅など金属材料を使用しています。

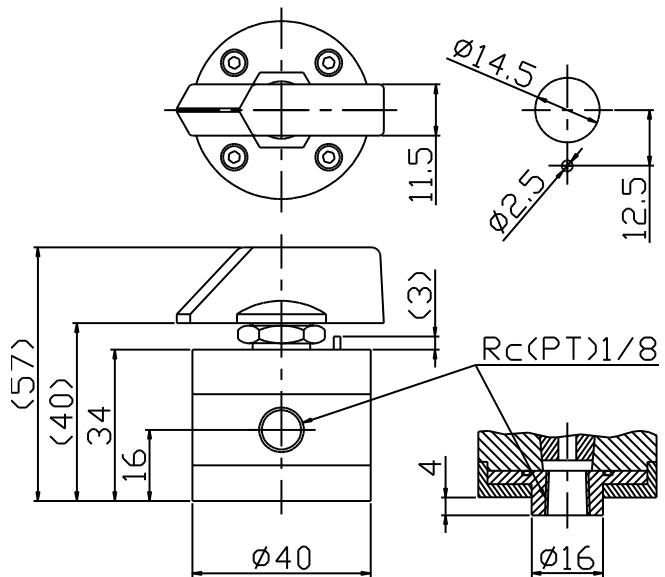
#### 4-2 形状

① ポートパターンによって 7 種類用意しています。

ポートパターン

寸法

ポートNo.	ポートパターン
6121	
6122	
6123	
6124	
6125	
6126	
6127	



- \* ポートは左右 360° 回転できます。
- \* ポートはハンドルで 90° ごとに切り替えます。
- \* △はハンドルの矢印方向です。

6121・6123  
6125・6127

6122・6124  
6126

② ボディの材質

ボディの材質によって2種のタイプに分けています。

部品名称	ボディの材質による区分	
	-FB	-PB
ボディ	PCTFE	PVC
スリーブ	PTFE	PTFE
ハンドル	フェノール樹脂	
ナット	SUS304	
その他	C3604(黄銅にクロームメッキ)	

③ 接続形状及びサイズ

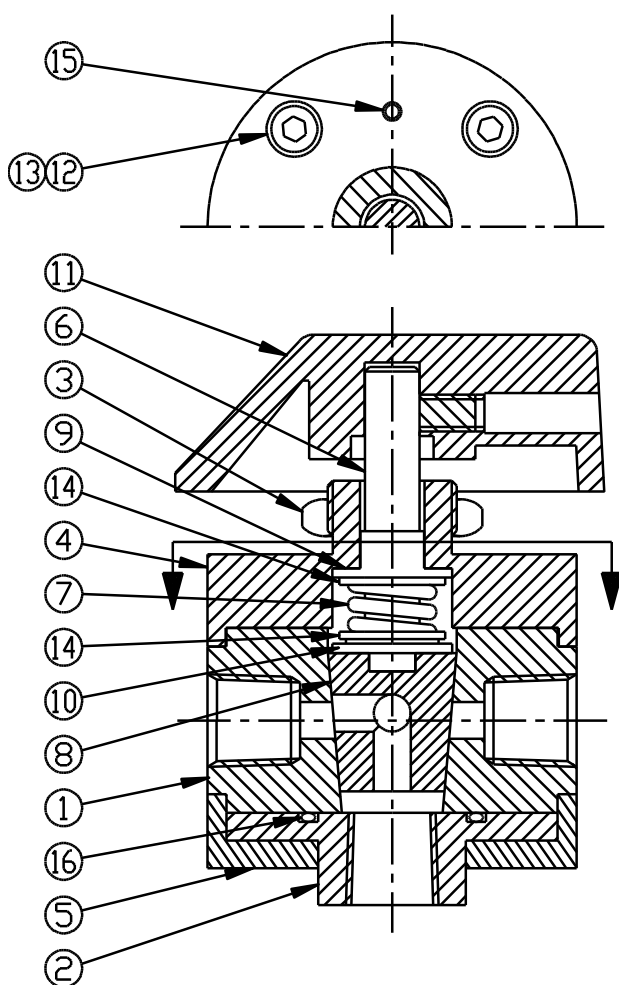
管用テーパメネジ Rc (PT) 1/8

④ オリフィス口径

3 mm

4-3 構造図および部品表

部品表は代表例を表わす。



NO	名称	材質
1	ボディ	PCTFE
2	ボトムフィッティング	PCTFE
3	ナット	SUS304
4	キャップ	黄銅
5	ボトムカバー	黄銅
6	ステム	黄銅
7	スプリング	SUS316WH
8	スリーブ	PTFE
9	ブッシング	PTFE
10	スペーサ(0.5)	PTFE
11	ハンドル	フェノール
12	六角穴付ボルト	SUS
13	座金	SUS
14	ワッシャ	SUS
15	スプリングピン	SUS
16	Oリング	PTFE

## 5. 仕様

---

- ① 最高使用圧力 . . . . 0.5 MPa (5 kgf/ c m<sup>2</sup>)      25℃の場合
- ② 最高使用温度 . . . . 100℃ (−FBタイプ PCTFE製)  
40℃ (−PBタイプ PVC製)

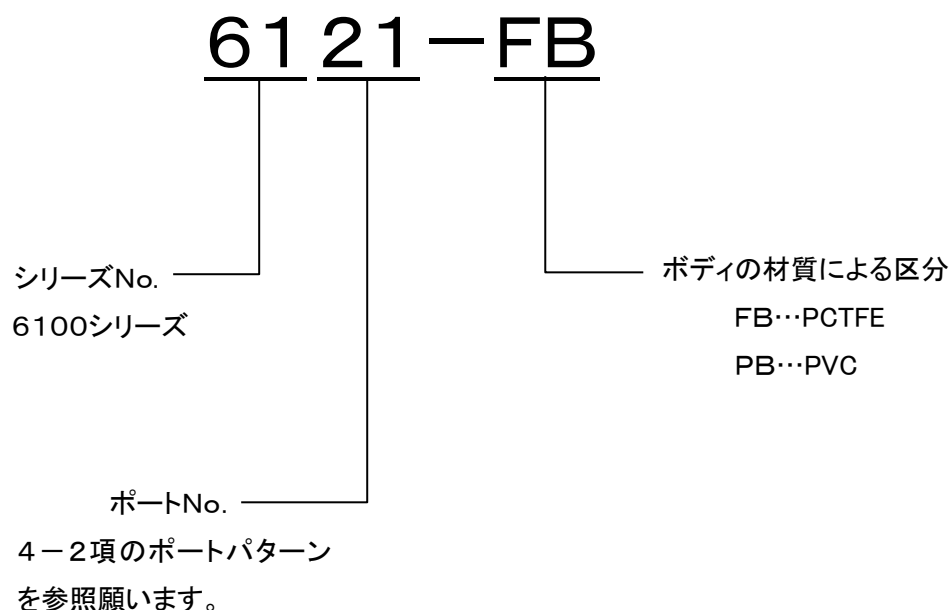
(注)上記最高使用圧力は25℃の場合であり温度条件によって異なります。  
下表にその数値を表記しますのでその圧力以下で使用して下さい。

使用圧力と使用温度

温度	−FBタイプ(PCTFE製)	−PBタイプ(PVC製)
25℃	0.5 MPa(5 kgf/ c m <sup>2</sup> )	0.5 MPa(5 kgf/ c m <sup>2</sup> )
40℃	0.45 MPa(4.5 kgf/ c m <sup>2</sup> )	0.45 MPa(4.5 kgf/ c m <sup>2</sup> )
60℃	0.4 MPa(4 kgf/ c m <sup>2</sup> )	—
80℃	0.35 MPa(3.5 kgf/ c m <sup>2</sup> )	—
100℃	0.3 MPa(3 kgf/ c m <sup>2</sup> )	—

## 6. 型式表示

---



## 7. 設置および取扱いの注意

---

### ご使用の注意



警告

……上記、仕様条件の範囲内でご使用下さい。



注意

……当製品の部品材質が使用条件に適合していることを充分ご確認ください。

### 7-1 設置

- ① 配管前に管内のゴミ、その他の異物はすべて除去して下さい。
- ② 配管接続口径が当製品と適合していることを確認して下さい。



注意

……NPT(アメリカ管用テーパネジ)とR, Rc(PT)管用テーパネジの誤使用に注意して下さい。

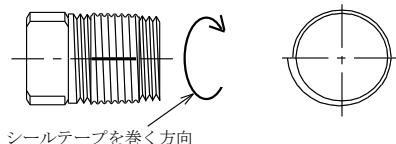
## 7. 設置及び取扱いの注意

### ③ 管用テーパネジの取扱いについてのご注意

特に下記の点に注意して施工して下さるようおすすめします。

#### a) シールテープの巻き方

- ・巻き始めと終わりを極力合わせるようにして下さい。
- ・シールテープに荷重(力)を掛けながらしっかりと巻いて下さい。
- ・ネジ溝部に食い込ませるようにして下さい。(ネジのらせん状に食い込ませる。)
- ・必ず締込む方向(時計回り)に巻いてください。
- ・ネジ山最下部の1山程度にはメネジ側にねじ込みやすくするため巻かないようにして下さい。
- ・シールテープは2～3巻程度巻いて下さい。



#### b) 締付けトルク値

- ・R、R<sub>c</sub> (PT) ネジの締付けトルク値

R (PT) 1/8 の場合 2～3 kgf・cm (20～30 N・cm) 程度で締付けて下さい。

### ④ 流れ方向を間違えない様にして下さい。

### ⑤ 配管後、接続部分の漏れの確認をして下さい。

## 7-2 取扱いの注意

### ① 仕様条件以内でのご使用をお願い致します。

### ② パネル取付けの場合は、まずハンドルを取外し、ボディ側をパネルに取付けパネルナットでしっかりと固定して下さい。

パネルへ固定後、ハンドルを取付けステムにしっかりとネジ止めして下さい。

### ③ ボディとスリーブを樹脂で構成していますので、スラリー液・粉流体に使用しますと損傷する可能性があります。これらの使用は避けて下さい。

### ④ バルブの切換方向を間違いのないように操作して下さい。



## 8. 保守・点検

---

正常かつ円滑な運転を保つため、定期的な保守・点検を行うことをお勧め致します。

### ① 正常な動作ができること

- a) ハンドルがスムーズに回転でき、切換が可能なこと。
- b) 流量ストップが可能なこと。

### ② 外部への漏れが無いこと

異常な動作及び外部への漏れ等の不具合がありましたら速やかに保守を行って下さい。

**(注)本製品の分解は容易に出来ますが再組立を行う際、方向の選定、治具の使用などが必要になりますので、分解しないようにして下さい。つきましては、保守の必要がありましたら弊社まで返送願います。**

## 9. 不具合の原因と対策

---

過去の経験などから予想されます不具合と対策を挙げてみますので参考にして下さい。

現象	原因	対策
外部への漏れ	ボディ及びスリーブの損傷 リングの劣化又は損傷	交換
流量低下	ポートのずれ (通過穴位置のずれ)	交換

## 10. 保証

---

製品の品質には万全を期していますが、万一、当社の製造上、又は設計上の原因による故障については、下記の要領で対応致します。

### 1)保証方法

故障品をご送付頂ければ、修理品、又は代替品を無償で発送致します。  
尚、代替品等の発送は日本国内に限らせて頂きます。

### 2)保証期間

保証期間は納入後、1年間です。

## 10. 保証

---

### 3) 補償範囲

補償範囲は当社の製造上、又は設計上の原因によるものとします。

尚、下記の場合は保証致しかねますのでご注意ください。

- ① 取扱い上の不注意による場合。
- ② 正常な使用条件以外の原因による部品の劣化、腐食、汚れ、詰まりなどの場合。
- ③ 消耗品として使用の場合。
- ④ 客先での改造などによる原因の場合。
- ⑤ 天災などの不慮の事故による場合。

## 株式会社フローエル

本 社 〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町 1-7 横浜ダイヤビルディング 12F  
(営業部)

TEL 045-440-0206

FAX 045-440-0214

関西事業所 〒522-0025 滋賀県彦根市野田山町山田 719-1

TEL 0749-21-3121

FAX 0749-21-3122

九州事業所 〒869-1108 熊本県菊池郡菊陽町光の森 7-23-9

TEL 096-349-2400

FAX 096-349-2403